

判例の調べ方

『裁判所データブック』によると、1年間に受け付けた訴訟事件は、民事・行政事件で約150万件、刑事事件で約100万件もあります(全裁判所の新受全事件数)。

このうち、判例として公表されるのは、訴訟事件全体の一部のみ(1%以下)です。のちの裁判の際に先例となると考えられる重要な判決が、判例として公表されます。

(1) 幅広く判例を探す

インターネット

◆「裁判所」(裁判所) ⇒ 「裁判例情報」

(http://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1)

判例中の用語や事件番号、裁判年月日等から検索し、全文を見ることができます。戦後の判例が収録対象であり、最高裁判所、高等裁判所の判例は、1947(昭和22)年から収録されています。速報性が最も高く、「最近の判例一覧」には、判決の翌日に全文が掲載されることがあります。

「Judgments of the Supreme Court」(「裁判例情報」右上の「ENGLISH」をクリック)では、最高裁判例の英訳を、英語で検索することができます(掲載にはタイムラグがあります)。

オンラインデータベース 館内のみ。ご利用には1階フロア案内でのお申し込みが必要です。

◆「法情報総合データベース(D1-Law.com)」(第一法規)

◆「判例秘書 INTERNET」(LIC)

いずれも戦前の大審院(現在の最高裁判所)の判例から収録されており、概ね明治時代後半から現在までの判例を検索し、全文を見ることができます。要旨(判例の要点をまとめたもの)がついている判例も多く、特定のテーマやキーワードで判例を調査する場合に便利です。独自に収集した判例もあるので、網羅的に判例を調査する場合は、複数のオンラインデータベース等で検索する必要があります。

また、判例の出典や解説、評釈等の文献情報も載っています。

「法情報総合データベース(D1-Law.com)」は、図書、雑誌、研究紀要等に掲載された論文の本文が見られます。

「判例秘書 INTERNET」は、『判例タイムズ』や『ジュリスト』など、判例解説や評釈を多く掲載した雑誌の論文本文が見られます。

(2) 最近の判例を探す

インターネット

「裁判所」のホームページにある「裁判例情報」→「最近の判例一覧」(<http://www.courts.go.jp/hanrei.html>)には、最高裁判所、下級裁判所(高等裁判所・地方裁判所・家庭裁判所・簡易裁判所)、知的財産高等裁判所等の判例が掲載されます。判決後数日で全文が掲載される判例もあります。

オンラインデータベース 館内のみ。ご利用には1階フロア案内でのお申込みが必要です。

「法情報総合データベース(D1-Law.com)」にも、判決後数日で全文が掲載されることがあります(「裁判所」のホームページへのリンク等)。「判例秘書 INTERNET」には、数ヶ月経ってから掲載されます。

印刷資料

判例掲載雑誌(『判例時報』等)には、数ヶ月程度経ってから掲載されます。雑誌に掲載される場合、判例全文ではなく要旨のみのこともあります。また、解説や評釈が掲載される場合もあります。『裁判所時報』(月2回刊)は、最高裁判所の重要判例全文を、約1ヶ月後に掲載しています。

◆判例掲載雑誌

- * 『判例時報』
- * 『判例タイムズ』
- * 『ジュリスト』
- * 『判例地方自治』
- * 『裁判所時報』 など

雑誌は、1階法律情報コーナー(一部は「はじめて学ぶ法律コーナー」)に最新3号を並べています。それより古い号は書庫にあります。請求票を「資料お渡し・返却カウンター」にお出してください。

東京都立図書館ホームページの「本・情報を探す」>「テーマ別調べ案内」>「法律について調べる」>「法律・法学関係雑誌リスト」もあわせてご覧ください。
(https://www.library.metro.tokyo.jp/search/research_guide/legal/list_magazine/index.html)

◆判例集

- * 『最高裁判所 民事判例集』 (R/324.0/24/)
- * 『最高裁判所 刑事判例集』 (R/326.0/35/)
- * 『交通事故民事裁判例集』 (R/681.3/3/) など

1階 法律

☆ オンラインデータベースの使い方や、詳しい資料の調べ方については、1階・総合案内・相談カウンターにお尋ねください。